

第18回 THE FOOTBALL CONFERENCE HYOGO 2025 報告書

【1】日時 令和7年1月26日(日) 10:30~16:30

【2】会場 甲南大学 岡本キャンパス

【3】講師 木村 康彦氏 (JFA 指導者養成ダイレクター)

【4】人数 210人

【5】内容

1. 阪神淡路大震災30年を迎えて

賀川 浩氏 追悼

(一社)兵庫県サッカー協会指導者養成部 三浦 清司

2. オープニング

(一社)兵庫県サッカー協会 会長 林 啓司

2024年日本のサッカー、兵庫県のサッカーの活躍について。日本を代表するジャーナリスト賀川浩さんについて。中学校部活動地域移行に伴い、どの生徒にもサッカーができる環境づくりを兵庫県として取り組みたい。

3. ご挨拶

(一社)兵庫県サッカー協会 技術委員長 小森 康宏

HYOGO'S WAY 「THE NEXT GENERATION」「2023年の約束」2024年の報告と今後の取り組みについて。

4. 講演①「世界で活躍できる選手育成」

JFA 指導者養成ダイレクター 木村 康彦氏

育成年代でのワールドカップにおいて、なかなかベスト16の壁を破れない。ユース年代と代表チームの間に高い相関があることを認識し、ユース育成の質を高めていくことが重要である。そのために、森保監督は「個の強さ」が不可欠で、「サッカーの本質」を追求することが必要だと考えている。そこで、「タレントの発掘と育成」が大きなテーマであり、我々指導者が育成のフィロソフィーを理解して取り組み続けることが大切である。

5. 講演②「世界の選手育成について」

JFA 指導者養成ダイレクター 木村 康彦氏

午前の講義に続く形で、世界のデータなどを用いながら選手育成について考察、共有。望まれる選手像(プレーヤープロフィール)とは何か、その基礎となるものは、最終形をイメージすることから始める。そして、技術面・戦術面・心理社会面・フィジカル面やポジション別のプレービジョンを確立し、どのように選手を育てるのかという「コーチングフィロソフィー」を指導者が持ち、「IDP」個別育成プランを立てて取り組んでいくことが大切である。

6. 2024 指導者養成部活動報告 「障がい者サッカー」

(一社)兵庫県サッカー協会指導者養成部 三浦 清司

各障がい者サッカーの紹介、障がい者が抱えているスポーツに対する思いや健常者との共生に向けた今後の取組。

7. クロージング 「サッカーの未来」

(一社)兵庫県サッカー協会指導者養成部長 鈴木 義章



木村 康彦氏

